

令和二年度 入学試験（公募推薦）問題（国語）

【】に答へなさい。

それは悲しみのビコウ^(a)がふちどりをしている絵のように見えた。茶の間にやわらかな冬の陽ざしがさしこんでいる中で、父と母はむかいあつっていた。母は肩にガーゼのてぬぐいをかけ、目をつむっている。その表情はおだやかでうつとりとさえしている。父はその母の顔をかみそりでていねいにあたつていて。眉をととのえ、口わきのむずかしいくぼみを、太い指でかみそりを上手にあやつってつるつるにしている。

あすは母がまた病院に帰る日。今日は正月の二日である。暮れの二十八日から家に帰つていた母のやすらぎの日々も、今晚でもうおしまい、私はヨチ^(b)していた。これが、最後の顔そりだ。長年見なれてきたこの風景。夫が妻の顔をあたるということは世間では相当^(c)*なことであろうが、我が家では年に数回、まことにあたりまえのことであつた。

どうしてまたそういうことになつたのと、母が死んだあと私は父にたずねた。結婚して間もなく、母は自分で顔をそろうとしていた。そつてあげようと父は言い、母はまことにすなおに父に顔をあずけた。それが一生つづいたということである。母はえりあしも美しい人だったが、父はその^(d)母のうなじをいかにもいとしげにいつそうきれいにするのだった。着物しか着ない母のほっそりした肩のあたりは、父の愛がこもつているように^(e)であった。

客観的には長かった二人の歳月。しかし今、母のいのちの灯が細くゆらめきかけている今、それは一瞬であつたようにも思える。今、頭も疲れ果てて、ほとんど物言わず人生の果てにたどりついた母を、^(f)無言のやさしく美しいことばで^(g)いる父の表情。

私はこたつのはしに身を入れながらその二人をみつめていた。昔は、母の顔がすんだあと、父は私の顔にとりかかつた。なぜか母のときはことばやさしくもの静かにその作業は進行するのに、私の番になると、俄然父のゼップウ^(h)は鋭く、やれ大きな顔だの鼻がどうのと顔の批判がつづく。私は私で誰に似た顔だとやりかえし、最後に父が大きくてのひらにうすみどり色のローションをふりこんでパタッと顔や首になすりつけるまでにぎやかなこと。母はそばでクスクスと笑いながらそれを見守っている。やがて成人した私はそういう時間もとれず、打々発止も少しづらわしくなつて、外でお金を払つて顔そりをしてもらうようになったが、それでも二十数年は父に顔をあたつてもらつたことになる。

そんな楽しくにぎやかな風景も、もはや過ぎ去つた日々のこと、今は一つの儀式であるかのように、父の手つきも愁わしげである。一組の男と女のたぐいまれな黄金の歳月に、今人間の力ではどうしようもないかぎりの幕がおりつつあるのだ。

この二人の間にどんなことばのさまざまがゆき通うたか。まこと、ことばは人と人とを結びつけるためにある。人間であるあかしの、きらめく孤独がそれぞれにないではないが、ことばがこんなによく⁽ⁱ⁾キノウした夫婦もめずらしいと私はしみじみ思う。

語り得るすべてのことを二人は話しあつた。とりわけ母はことばを信頼する人であった。時にははげしい批判、怒りのことばもある、そして多くは理解し合い、より強く純粹な愛を育てることば。夫婦げんかも、二人の間の食いちがいを埋め、次の合意点に達するための大切なことばのやりとりなのだ。よく話しあう両親から私が学んだことは、ことばこそが人と人をつなぐということであつた。

話したって通じないのでから^(j)黙つていようとか、夫婦はがまんだとかのレベルは我が親たちには縁遠いものだった。夫婦ほど話しあわねばならぬ、いや、おのずと話せてしまう人間関係はないと私は思つてゐる。しあわせの果てに、やがて永別^(k)の日がやってくる。この上なく愛しあつていた二人に何と辛いそのいつときだろう。母は病みつかれて、そのこともほとんどわからぬようになつていていたが、父はようくわかっている。いずれその日が遠からずやってくる。最後の、最後の顔そり。

私の胸は静かでどこか甘い悲しみの海であった。来年にはもう決して存在しないこの父母の姿。あたたかな涙

がまぶたににじみ出る。それは今から五年前のことであるが、私は今もなお一人の最後のむきあつた姿を茶の間のその場所においているのだ。

(寿岳章子『最後の顔そり』)

【1】二重傍線部ⒶⒷの漢字の正しい読みを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問1】

【解答欄は問2】

- 1 Ⓐ ①むげん ②むい ③ない ④なごん ⑤むごん
2 Ⓑ ①とわべつ ②えいべつ ③えいわけ ④ながべつ ⑤ながわけ

【2】空欄Ⓐ～Ⓑに該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問3】

3 Ⓐ ①けなげな ②かぼそい ③きやしやな ④いたいけな ⑤よわよわしい
4 Ⓑ ①たおやか ②しとやか ③まろやか ④あたたか ⑤やわらか
5 Ⓒ ①ささえて ②ふくんで ③いだいて ④くるんで ⑤かかえて
6 Ⓓ ①じつと ②いっそ ③ならば ④ずっと ⑤しばし

【3】傍線部Ⓐ～Ⓓの漢字として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問3】

【解答欄は問6】

- 1 Ⓐ ①美光 ②琵光 ③尾光 ④眉光 ⑤微光
2 Ⓑ ①予知 ②余智 ③予智 ④余地 ⑤世知
3 Ⓒ ①舌報 ②舌砲 ③舌鵬 ④舌鋒 ⑤舌方
4 Ⓓ ①帰納 ②器能 ③機能 ④器納 ⑤機腦

【4】空欄*に該当する語として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問11】

【解答欄は問11】

- 1 Ⓐ ①風変わり ②奇妙 ③型破り ④奇怪千万 ⑤異形

【5】波線部のように記した筆者の思いとして、ふさわしいと考えられるものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問12】

【解答欄は問12】

- 1 Ⓐ ①自分も物忘れがひどくなつてきており、二人のことをきちんと記憶に留めたい、という思い。
2 Ⓑ 二人の人生に比べて、自分自身はどうなのか、冷静に振り返っておかなければ、という思い。
3 Ⓒ まだ元気でいられる幸せを、改めて二人に感謝しなければ、という思い。
4 Ⓓ 両親の姿を思い出すたびに、二人と生きられた幸せを噛みしめることができる、という思い。
5 Ⓔ 父に顔をそらしている時の母の幸せな姿を、たまには思い出したい、という思い。

二次の文章を読んで、後の問【6】～【10】に答えなさい。

今年は冬が早くきた心地がする。雪が立山や浅間山のいただきを彩ったという。初冠雪という言葉は凜々しさと潔白さと和やかさがあつていい。季節の変わりめが好きで、冬から春へ、秋から冬へというころには私はなんとなく興奮する。木枯しめいた風が吹きはじめると、さあ冬がやってきた、となにか手ぐすね【a】待つ心地になる。寒さは大の苦手の弱虫のくせに、季節の変わるときの心の【ア】思いが好きなのだ。出来たら犬っこのように駆けてゆきたい。

木枯しが吹きはじめると必ず上京した年の冬を思い出す。太平洋戦争の始まつた年である。私はその夏、机と寝具と行李一個を持って東京に来た。吉祥寺の井の頭公園近くの友人の家に身を【b】いた。木枯しの吹きはじめた一夜、友人と銭湯に出かけ、帰りに古道具屋で小さい火鉢を買った。古道具屋でものを買うのは初めてであった。それがひどく珍しくて愉快しかつた。田舎のものがたい家庭に育つた私は、古道具屋でものを買うなどということが自分の生涯にあろうとは思つていなかつたので、一つの冒険をしたようで愉快で仕方がない。ついでに灰も買うのだと友人に教えられて灰も入れてもらつた。

都会では火鉢の灰も買うのです。おどろいたでしよう。と姉に手紙を書いた。翌日炭屋で木炭を十錢分買つた。檍炭を俵で買い【1】使つていた私は、木炭を十錢買うというのにも驚いた。林芙美子の『放浪記』は都会では普通の暮らしさしい。その底のぬけたような明るさが納得できた。火鉢はま新しくて赤地に黄色の菊の模様が一面に彫つてある土焼きのこたつ火鉢であつた。流行しはじめたばかりで一円五十錢。新品なら三円はする、と友人はいう。蓋をするところたつになる。小さい五徳を据えて湯を沸かし、友人と二人で茶を呑んだ。外はひゆつとうと木枯しが通つてゆく。あのほうじ茶の匂いが忘れられない。

今日の午後、犬のお伴をして駅の裏の住宅街を散歩していたら、ある家の板塀ごしに小さな庭が見え、昔、私が古道具屋で求めたのと同じ小さいこたつ火鉢が見えた。赤地に菊模様の土焼き火鉢は、黄色の小菊を植えられて植木鉢になつていて。私はそつとしばらく足を止めて眺めた。

貧しいことが良いことであるはずもないが、貧しくなくては【*】幸福感というものもある。あのこたつ火鉢のある木枯しの夜の仕合わせはいま思い出してじつに大切な心地がする。

（大原富枝『木枯しの季節』）

【6】 空欄【ア】に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問【13】【14】】

- 【13】 【ア】 ①かしこまる ②うきたつ ③ひきしまる ④はずむ ⑤あらたまる
【14】 ①なにげなく ②まんぜんと ③それとなく ④ふんだんに ⑤きままに

【7】 傍線部「手ぐすね」に続く(a)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

- 【15】 (a) ①こめて ②ひいて ③まいて ④ひめて ⑤おして
【16】 (b) ①寄せて ②潜めて ③置いて ④重ねて ⑤休めて

【8】 傍線部「身を」に続く(b)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問【15】】

【解答欄は問【16】】

【9】 空欄*に該当する語として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問【17】】

- 【17】 ①気づかない ②楽しめない ③生かせない ④味わえない ⑤手にできない

【10】 波線部のように記した筆者の思いとして、ふさわしいと考えられるものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問 **18**】

- ①初めての東京暮らしから得られたたくさんのことが、改めて懐かしい、という思い。
②豊かではなくても心は温かく充たされていた日々のことを、大事にしていかなければ、という思い。
③あの日々が今に繋がっていることを、忘れないようにしなければ、という思い。
④それなりに充たされている今の暮らしより、あの頃の方がよかつたのでは、という思い。
⑤木枯しのたびに、あの頃のことが頭から離れなくなる、という思い。

三次の問 **11**～**13**の漢字の読み方として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

「悪童」【解答欄は問 **19**】

①あくどう ②あくたれ ③おどう ④わるたれ ⑤わるどう

「聲音」【解答欄は問 **20**】

①こわおと ②こえね ③こわね ④こえおと ⑤こわおん

「権化」【解答欄は問 **21**】

①げんげ ②けんか ③こんか ④こんげ ⑤げんか

【11】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【12】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【13】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【14】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【15】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【16】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【17】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【18】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【19】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【20】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【21】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【22】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【23】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【24】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【25】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【26】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【27】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【28】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【29】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【30】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【31】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【32】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【33】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【34】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【35】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【36】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【37】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【38】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【39】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【40】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【41】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【42】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【43】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【44】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【45】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【46】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【47】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【48】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【49】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【50】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【51】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【52】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【53】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**】

【54】

「惡童」【解答欄は問 **19**】

「聲音」【解答欄は問 **20**】

「権化」【解答欄は問 **21**

四 次の問【14】～【18】の表現のなかの□に用いる漢字としてふさわしいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【14】この分野において、彼女には「一日の□」がある。【解答欄は問【22】】

- ①上 ②長 ③大
④光 ⑤先

【15】その件については、「□意」努力しております。【解答欄は問【23】】

- ①鋭 ②真 ③誠
④熱 ⑤慎

【16】若いスタッフによって、改革の「実を□げる」ことができた。【解答欄は問【24】】

- ①曲 ②挿 ③傾
④下 ⑤上

【17】最近の彼は、「辻褄を□わせる」ことばかり、考えている。【解答欄は問【25】】

- ①添 ②這 ③交
④合 ⑤負

【18】今回の決着は、どうにも「□に落ちない」。【解答欄は問【26】】

- ①知 ②氣 ③腑
④身 ⑤地

五 次の問【19】～【23】の作者の作品として正しくないものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【19】「志賀直哉」【解答欄は問 27】

- ①『清兵衛と瓢箪』
- ②『城の崎にて』
- ③『夜明け前』
- ④『小僧の神様』
- ⑤『暗夜行路』

【20】「樋口一葉」【解答欄は問 28】

- ①『大つごもり』
- ②『浮雲』
- ③『にごりえ』
- ④『十三夜』
- ⑤『たけくらべ』

【21】「東野圭吾」【解答欄は問 29】

- ①『秘密』
- ②『白夜行』
- ③『容疑者Xの献身』
- ④『グランド・フィナーレ』
- ⑤『祈りの幕が下りる時』

【22】「角田光代」【解答欄は問 30】

- ①『理由』
- ②『キッドナップ・ツアーアー』
- ③『対岸の彼女』
- ④『空中庭園』
- ⑤『紙の月』

【23】「アーネスト・ヘミングウェイ」【解答欄は問 31】

- ①『日はまた昇る』
- ②『老人と海』
- ③『武器よさらば』
- ④『誰がために鐘は鳴る』
- ⑤『グレート・ギャツビー』

【31】

【30】

【29】

【28】

【27】

【19】